

岸田改造内閣発足に対するコメント

神戸商工会議所

会頭 家次 恒

コロナ禍とウクライナ侵攻、さらに米中間の緊張の高まりにより、物価上昇と景気後退が同時に進む、世界経済の下振れリスクが懸念される予断を許さない情勢が続くことから、何よりも安定的な政権運営と速やかな政策実行が強く望まれる。

その中で、今回の内閣改造は、重要ポストに経験豊富な実力者、今後の活躍が期待される人材ともバランスよく配し、安定性を重視した布陣となったことを評価したい。

新内閣においては、実効ある経済対策やエネルギー政策を通じて足元のダメージの緩和をはかるとともに、新しい資本主義の本格実行により、地域経済や中小企業の成長発展に繋がる、具体的な成果を生み出してもらいたい。

同時に、グローバルな見地に立ち、構造的な課題にも果敢に挑む、強いリーダーシップが求められる。一段と厳しさを増す安全保障問題に戦略的に対応しつつも、国際社会の分断や感染症の拡大に憂えることなく、国際交流復活に向けた動きを着実に前に進めてもらいたい。

令和四年八月十日